

# 西脇市 比延地区 まちづくり計画 平成16年度版(概要版)



## ● アクションプラン

数多くの部門別計画の内、比延地区まちづくり計画検討委員会での話し合いの中から、地区住民が主体となって取り組むことができると考えられる計画、地域にとって重要と考えられる計画を「アクションプラン」として抽出しました。

### 1 農協跡地をまちづくり拠点に!

- 平成17年度から有志や野菜販売等の協力農家、ボランティアスタッフ等を募集し、具体化の検討に着手します。
- 農協との調整を経て、できれば平成17年度中にふれあい店舗等の開設を目指します。

### 2 美化清掃ボランティア活動を推進しよう!

- 平成17年度から有志や既存団体に声をかけ、地区の緑化活動や清掃活動等を体系的に行えるよう、企画や年間行動計画づくりに着手します。
- 平成17年度中にモデル事業として、河川敷や市有地等の公的な空間を利用したイベントまたは緑化活動等の実施を目指します。

### 3 アーティストロードで新規イベントをしよう!

- 芸術家等の方々との協力を得て展示・販売・制作イベントや野外田園ミュージアムの開設を目指します。

### 4 比延ブランドをつくろう!

- 企業や農家の有志を募り、ブランド品の研究・製作・生産、販売等にチャレンジします。



素晴らしい比延ブランドを夢見て...

### 5 地域タクシーを走らせよう!

- タクシー会社やバス会社の協力を得ながら買い物や通院等に便利な地域タクシー運行の研究を進めます。

注)3,4,5については平成20年までには実施できるよう有志を募り検討していきます。



閉鎖となった農協をまちづくりの拠点に...



比延小学校前の道路で美化活動



比也野里まちづくり委員会の手によって設置された水車小屋



お年寄りの皆さんの新たな交通手段を検討します

## ● まちづくりの基本目標

### 子午線と自然が織りなす ふるさと☆比也野

毎日、なにげなく過ごしていますが、私たちの地区は住み良いところでしょうか。住みにくいとすればどんなところでしょうか。どこをどのように改善すれば良いのでしょうか。私たちは、次の世代に何を残し、何をどのように伝えたら良いのでしょうか。我々の先輩から何を学べば良いのでしょうか。

比延地区まちづくり計画検討委員会は、このような問題をひとつでも解決したいという願いを持って平成14年11月に発足し、2年間をかけて計画づくりを進めてまいりました。毎月1回の会議、全世帯まちづくりアンケート調査やタウンウォッチングの実施。兵庫大学の根本敏行教授(現静岡文化芸術大学教授)をアドバイザーに、引き続いて、樋口都市設計の樋口信子代表をコンサルタントにお迎えし、御助言・御指導をいただきながら、この度、ひとつのまちづくり計画としてまとめました。

この計画書は完成品ではありません。これが、今後の比延地区のあり方を皆さんに考えていただくきっかけとなり、ここからまちづくりの第1歩が踏み出せればと考えています。そして、皆さんと一緒にこの計画書を膨らませていければ...と思っています。まちづくり...ひとりで考えれば判らないことばかりです。そこに住むみんなで考え、みんなで育んでいきたいと思ひます。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

比延町・上比延町・中畑町・住吉町・鹿野町・塚口町・高嶋町・堀町  
比延地区まちづくり計画検討委員会

## ● 比延地区まちづくり計画策定の経緯

【平成14年度】※アドバイザー 兵庫大学/根本敏行教授  
比延地区各種団体等から選出された30名の委員により計画策定に着手。

- 第1回 平成14年11月15日 講演:「地域で考えるまちづくり」  
講師:兵庫大学 根本敏行教授
- 第2回 平成14年12月19日 第3次西脇市総合計画及び西脇市環境計画の概要説明
- 第3回 平成15年 2月 4日 ワークショップ「比延地区の良いところ悪いところ」
- 第4回 平成15年 3月11日 ワークショップによる地区の課題を生かしたプロジェクトの検討

【平成15年度】※アドバイザー 兵庫大学/根本敏行教授  
(財)ひょうごまちづくりセンターのアドバイザー派遣を受け計画策定作業を推進。

- 第1回 平成15年 7月18日 比延地区の地域資源
- 第2回 平成15年 8月26日 「地区の夢描き」
- 第3回 平成15年 9月29日 具体的な計画づくり1
- 役員会 平成15年10月16日 タウンウォッチングとアンケート項目の検討
- アンケート 平成15年11月 1日 アンケート配布
- 第4回 平成15年11月 2日 タウンウォッチング
- 第5回 平成15年11月30日 滋賀県甲良町へ視察研修
- 第6回 平成15年12月11日 具体的な計画づくり2
- 第7回 平成16年 1月28日 具体的な計画づくり3
- 第8回 平成16年 2月19日 プロジェクト事業の検討1
- 第9回 平成16年 3月25日 プロジェクト事業の検討2



【平成16年度】※コンサルタント 樋口都市設計/樋口信子代表  
(財)ひょうごまちづくりセンターのコンサルタント派遣を受け、比延地区まちづくり計画のまとめに入る。

- 第1回 平成16年 4月28日 プロジェクト事業の追加、修正検討
- 第2回 平成16年 6月24日 アクションプランの検討1
- 第3回 平成16年 7月29日 アクションプランの検討2
- 第4回 平成16年 8月26日 アクションプランの検討3とキャッチフレーズの検討
- 第5回 平成16年 9月30日 アクションプランの検討4とキャッチフレーズの決定
- 第6回 平成16年11月15日 提案書の検討
- 第7回 平成16年12月 2日 提案書の追加、修正
- 第8回 平成16年12月16日 提案書の最終確認
- 住民説明会 平成17年 1月19日 提案書についての住民説明会
- 第9回 平成17年 3月 4日 提案書の最終確認とアクションプラン参加者アンケート
- 市長への報告会 平成17年 3月30日 市長へ提案書を提出

平成17年3月 比延地区まちづくり計画検討委員会 策定

●お問い合わせ先●

西脇市まちづくり推進室

西脇市郷瀬町605 TEL0795(22)3111 FAX0795(22)1014 内線319

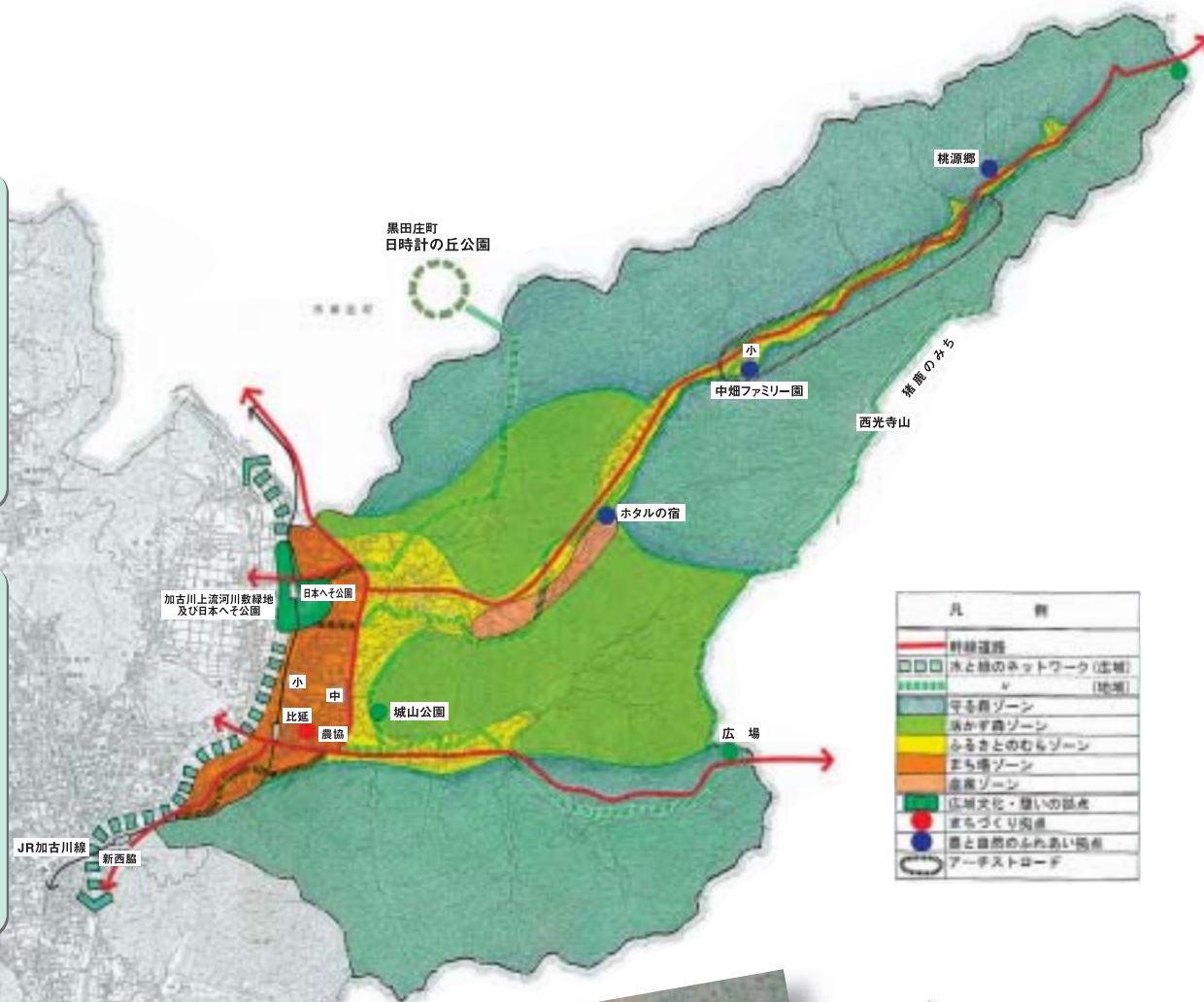
# ● まちの将来像 (土地利用構想)

## 1 まちの骨格(道路・鉄道)

- 幹線道路である県道西脇篠山線・上鴨川西脇線及び黒田庄滝野線を人も車も安全に通行できる道路として整備していきます。特に小中学校の通学路となる区間では歩道の整備を推進していきます。
- 日本へそ公園・城山公園、濫觴公園及びしら坂トンネル入り口の広場などを畑谷川・比延谷川の河川敷や堤防、尾根筋及び近畿自然歩道を活用してネットワークし、地区住民や市民等が水と緑に親しめる「歩く道」を整備していきます。
- JR加古川線は市民の交通手段として機能するよう、運行本数の見直しやイベント列車運行などを働きかけていきます。

## 2 まちの中身(区域)

- 保安林や野生の動物等が分布する山林を「守る森ゾーン」とし、自然環境の保護に努めます。
- 集落地と守る森ゾーンの間に広がる里山やゴルフ場、県立自然公園を「活かす森ゾーン」とし、山林や農地を日常生活やレクリエーションに積極的に活用していきます。
- 県道沿いに広がる集落や農地を「ふるさとのむらゾーン」とし、道路や下排水などの生活環境の整備を進めながら、農地の保全や趣のある集落景観の保全に努めます。
- 加古川左岸に広がる集落地については「まち場ゾーン」とし、農用地やため池を保全しながらも、地区全体の中心地として便利施設の誘致・集積を進めていきます。
- 中畑工場公園一帯については、「産業ゾーン」とし、環境に配慮した工場や事務所等の誘致を進めていきます。



## 3 まちの集客スポット & チャームポイント(拠点・資源)

- 経緯度地球科学館や岡之山美術館を有する日本へそ公園一帯を「広域文化・憩いの拠点」とし、より集客力のあるイベントの実施や地区住民が気軽に利用できるしゅみを検討していきます。
- 農協跡地を「まちづくり拠点」とし、子どもからお年寄りまでが多様なコミュニティ活動や特産品販売活動等ができるようにしていきます。
- 中畑工場公園に隣接するホテルの宿、中畑林間ファミリー園及びすみよし桃源郷等を「農と自然のふれあい拠点」とし、施設の充実や利用促進を図っていきます。
- 中畑町の県道西脇篠山線沿いには、画家のアトリエや陶芸家の窯、ガラス工房、水車製作所など特徴ある個人住宅・作業場が分布しています。この一帯を「アーチスト街道」とし、作家や経営者の協力を得ながら、一般市民等の制作現場の見学会や作品展示会、即売会、技術指導会などを開催し、まちの活性化を図っていきます。
- その他、地区内に点在する神社や寺を大切に保存し、小学校や公民館についてもコミュニティ活動の拠点として施設の充実や利用促進を図っていきます。

# ● まちづくり計画 骨子

まちづくりを進めていくために次の5本の柱を設けどのように計画していくかを示しています。

## 1 支えあふれあいのまちづくり

### ■ まちづくり拠点整備と地区住民のふれあい事業を進めよう

- ・高齢者の技や知恵を活かし、伝え、子どもたちとのふれあいににつながる事業を子育て支援として展開しましょう。
- ・高齢者が子どもたちに昔の遊びを教えたり、放課後、児童と一緒に行動したり、子どもたちを一定時間預かたりする制度を検討し推進しましょう。
- ・農協跡地を活用し、まちづくりふれあい拠点の整備(施設のリニューアル)を推進しましょう。
- ・農協跡地を地区住民が気軽に語り合い、ふれあうことができるスペースを備えた施設として再整備し、活用しましょう。



未来を担う子どもたち



水・緑などの自然を生かして...



日々のふれあいの中から



歴史遺産を大切にまもる

## 3 暮らしと産業の調和するまちづくり

### ■ 地元雇用の拡大につながる工場公園等への企業誘致を促進しよう

- ・若者の地区外流出に歯止めをかけ、まちの活気を高めるためにも、工場公園への企業誘致を促進し、企業と協力し地元雇用を増やす等、働く場の確保を推進しましょう。

### ■ 地域の自然や伝統を活かしたコミュニティビジネスを展開しよう

- ・農産物や木材、水などの地域資源や地区に居住する芸術家の作品展示等を地域ぐるみで積極的に進めましょう。そのためにはアーチストや職人の居住地を整備し誘致しましょう。
- ・また、地域の資源を生かした特産品の開発にも地域全体で取り組みましょう。

## 4 自然にやさしい安全・快適なまちづくり

### ■ おでかけ支援として地域タクシーの運行を検討しよう

- ・高齢者が生きがいをもって暮らせ、また安心して病院等に通えるよう地域ぐるみで外出を支援するシステム(地域タクシー、乗合い推進活動など)を研究しましょう。

### ■ 子どもたちとともに環境学習を進めよう

- ・子どもたちを美化清掃活動等へ積極的に参加させることで、地域の環境を大切にし、まちに対する愛着を育むようにしましょう。
- ・地域の歴史や資源を日常生活の中で子どもたちが学習できるようにしましょう。そのためには、高齢者とのふれあい活動[1を参照]の中に学習プログラムを組み込みましょう。

### ■ 道路や歩道の整備、バリアフリー化、交通安全対策を推進しよう

### ■ 災害に対する安全対策を進めよう

### ■ 犯罪を防止し、安心して暮らせるようにしましょう

## 5 公民協働によるまちづくり

- 市域全体の取り組みとして、他の地区とも連携を図りつつ、まちづくり人材育成システムやまちづくり活動への助成・支援システムを検討しよう